

学校あり方ミーティング（地域の意見）

1. 統廃合に関する意見

参加した地域住民の意見で最も多く寄せられたのは、学校の統廃合に関する懸念であった。地域住民は、具体的な統廃合のプロセスやスケジュールについての情報提供を求める声が強く、特に「いつ統廃合が行われるのか」「具体的なフォローアップについて早期に伝えてほしい」という意見が多く見られた。また、統廃合がもたらす地域コミュニティへの影響や、教育環境への不安も併せて表明されており、「不登校が増えるのではないか」「地域の輪が低下する」といった懸念も具体的に挙げられた。

2. 教育環境の改善

次に多くの意見が集まったのは、教育環境の改善についてである。参加者からは、「全学校の体育館に空調設備を設置すべき」「教員数を増やし、先生が目が行き届くようにして不登校問題を減少させたい」といった具体的な要望が出された。また、地域の子育て支援策についても、「揖斐川町のように出産時に支援があるべき」との意見があり、地域の施策と合わせて検討することの重要性も指摘されている。さらには、「家庭・地域・学校の連携を深める必要がある」とする意見を通じて、教育環境の全体的な質向上が強調されている。

3. 地域のコミュニティと子育て支援

最後に、地域のコミュニティや子育て支援に関する意見が挙げられた。参加者は、「幼い子どもを持つ母親の孤独感を解消する方法が必要」とし、地域で支え合うコミュニティの重要性に触れている。また、将来を担う高校生や大学生の意見を聞く場を設けるべきだとの意見もあり、世代間のコミュニケーションを促進する必要性が提案されている。さらには、「地域の避難所として学校を利用する考えを持つべき」という意見もある。